



皆さん、アンニョンハセヨ！平成24年4月に佐世保市の国際交流員として赴任してから早くも5年という時間がたってしまいました。佐世保の美味しいものを食べ、佐世保の優しい人たちと接して過ごし、たくさんの思い出と大切な縁と数多くの経験ができました。5年間、心身とも元気で過ごせた原動力は、「佐世保ならではの」趣味活動のおかげだと思います。今回は、故郷のソウルを離れ、佐世保で生活する中で新しく始めた趣味の活動について紹介します。

①シーカヤック

佐世保を代表する九十九島。世界のどこにでも自慢できる美しい海が広がっていて、遊覧船、ヨット、釣り、海水浴などたくさんのことを楽しむことができます。

その中でも一番記憶に残るものを選ぶとしたら、私は九十九島の無人島で楽しむシーカヤックを挙げます。真夏の暑い日に、飲み物や食べ物を載せてカヤックを出発させ、誰もいない無人島でゆっくりしながら海水浴を楽しみます(私のように泳げない人もライフジャケットがあるから安心！)。特に、楽しい時間を終えて戻るとき、カヤックの上で見た夕日は一生記憶に残る風景でした。

②ロッククライミング

佐世保の恵まれた自然は海あり山ありで、トレッキングから山岳スポーツまで楽しむことができます。私が選んだ種目は、自然の岩を登って行く「ロッククライミング」です。佐世保でできるのかと思う人もいるかもしれませんが、県北振興局のトレーニング室ではスポーツクライミングを楽しむことができますし、展海峰などでは自然の岩を登ることもできます！

もう5年間佐世保に居ましたが、これからも住みたいと思うほど佐世保は魅力あふれるところです。まだまだ私が知らない美しさ、楽しさがいっぱいあると思います。皆さんぜひ教えてください！

☎国際政策課 ☎24-1111



佐世保の文化発信拠点として、昭和37年の開館以来、長年、市民に親しまれてきた「佐世保市民会館」が、本年3月31日で55年間の役割を終えようとしています。

佐世保市民会館は、市制施行60周年と旧軍転法施行10周年を記念し、市民の文化向上と福祉増進を目的として、昭和37年5月1日に開館しました。以来、佐世保市民管弦楽団や佐世保吹奏楽団が活動の拠点として利用したり、市民劇場や「劇団カッパ座」、PTA音楽祭、各種研修大会など、数多くの多彩な催しが行われたりしてきました。

さらに、昭和41年2月から平成2年3月まで併設していた市民会館結婚式場では、延べ2,134組の方が結婚式を挙げられるなど、多くの市民の皆さまに親しまれ、それぞれの思い出に残るホールであったと思います。

しかし、ピーク時の昭和49年に年間約26万3千人だった利用者数は、アルカスSASEBOやコミュニティセンターホール、各地区公民館などの整備とともに分散し減少するようになり、アルカスSASEBO開設年の平成13年には約9万6千人に、直近の平成27年には約5万1千人となりました。このほか老朽化や耐震化など、施設・設備のハード的な課題もあり、総合的に検討した結果、このたび閉館することになりました。

この閉館に当たり、1月22日(日)に「佐世保市民会館 ありがとう コンサート」が開催されます(この原稿は開催前に書いています)。これまでに市民会館を拠点として活動されてきた市内の音楽団体有志の方々が集われ、企画されたものです。

コンサートでは、昭和44年に市民会館での市民管弦楽団定期演奏会で初披露され、演奏者や合唱団、観客など、多くの皆さんが感動して涙したといわれている「西海讃歌」(藤浦光原詞、團伊玖磨作曲)をはじめ、「九十九詩人」(阿久悠作詞・羽田健太郎作曲)や「美しき天然」(武島羽衣作詞・田中稔積作曲)などが、佐世保市民管弦楽団とアルカスジュニアオーケストラによって演奏され、佐世保合唱団など市内の合唱団総出の大合唱で歌い上げられるとお聞きしています。

まさに、市民の熱い思いが込められた、佐世保市民会館への感謝「ありがとう」にふさわしいコンサートになることと思います。

市民の皆さまとともに、佐世保文化の拠点として愛され、親しまれた「佐世保市民会館」に改めて感謝の意を表すると同時に、市民会館利用者の皆さまや、これまで守り続けていただいた関係者の皆さまに心からお礼を申し上げます。

佐世保市長 朝長 則男

させぼ市政だより キラっ都させぼ「新しい動物も仲間入り！春の森きららに行こう！」

12月、森きららに県内初展示となる「チーター」が仲間入りしました。その他、イベントが盛りだくさんの春の森きららについて朝長市長がお知らせします。

放送スケジュール	
2月 4日④、18日④	9時25分(NBC)、11時45分(KTN)
2月11日④⑤、25日④	11時40分(NCC)
2月12日⑤、26日⑤	6時30分(NIB)
毎週日曜	18時55分(テレビ佐世保)



※12月放送分の収録の様子。スマートフォンなどからの視聴はこちらからどうぞ！



☎秘書課 ☎24-1111

徳育通信 ⑤9 聞いて「徳」する話② 「良運拾い」でハッピーに！

私はごみを拾うのが好きです。歩いて出掛けるときはごみ袋を持参し、落ちているごみを拾います。

町なかに落ちているごみは、誰かが落としたものです。気付かずに落としてしまったものかもしれませんが、中にはわざと落としたごみもあるでしょう。

こんな話を聞いたことがあります。「落ちているごみは落とした人の良い運が付いているから、そのごみを拾うと、落とした人の良い運まで拾えるんだよ」

私はそれを聞いてから、進んでごみ拾いをするようになりました。良い運に恵まれますように、と。町なかもきれいになるし、私にも良い運が付いてくるなん

て、一石二鳥です。ご縁があって、この地域に住んでおりますので、少しでも恩返しができると思います。皆さんもごみ拾いをしてハッピーになりましょう。

瀬戸越4丁目 高野 忍

【聞いて徳する話】募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市HPからどうぞ。
【事務局】佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号 電話・ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiiku@alpha.ocn.ne.jp

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！

1月1日 現在

- 総人口 253,418人(-225人)
男性 119,448人(-110人)、女性 133,970人(-115人)
- 世帯数 105,372世帯(-74世帯)

※12月中の動き

転入 391人、転出 521人、出生 155人、死亡 250人

●テレビ

NBC 土曜9時25分~30分、NCC 土曜11時40分~45分
KTN 土曜11時45分~50分、NIB 日曜6時30分~35分

●ラジオ

NBC 日曜 9時25分~30分、FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせぼ 火曜10時30分~35分 日曜 9時30分~35分

●新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜